

教科	国語	科目	国語表現	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	国語表現 改訂版			出版社名	大修館書店	
	副教材	プライム常用国語(第一学習社)					

学習の目標	1 国語を的確に理解し適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めます。 2 表現活動を通して自分の考えを深め、目的に応じた適切な表現ができる言語感覚を磨きます。 3 言語に関する知識を学び、言語文化への関心を深めます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	第1部 表現力を培う 1 書いて伝える	○原稿用紙の使い方、文章表現のきまりについて理解します。	中間考査 期末考査
	5月	2 小論文・レポート入門	○主題文を作成し、意見を明確にした上で書き始められるようにします。	
	6月	3 自己PRと面接	○小論文の構成について理解し、論理的文章力を高めます。	
	7月		○面接の注意事項について正しく理解し、模擬面接を通じてその技能を身に付けます。	
2 学期	8月	4 メディアを駆使する	○ネットやメディアとどう関わり、利用するのか理解します。	中間考査 期末考査
	9月	5 声とコミュニケーション	○音声言語を用いた表現の楽しさと難しさについて理解し、その方法を学びます。	
	10月	6 会話・議論・発表	○効果的なコミュニケーション技能を身に付けます。	
	11月		○いろいろな議論の方法を学び、実際に行う際、表現に求められるものを理解します。	
12月		○プレゼンテーションの実践を通じて、情報の受け手に対して意識すべき事やその方法について理解します。	期末考査	
3 学期	1月	第2部 表現を楽しむ 1 言葉で遊ぶ 8 エッセイを書こう	○回文やしりとりなど、昔からあった言葉遊びを通じて、その面白さや言葉の可能性について感じます。	学年末考査
	2月		○日常を書く行為によって切り取り、保存する行為の楽しさを感じます。	
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	/	言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、小テスト・課題やノートなどの提出物・授業態度などを考慮して総合的に算出します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業には真剣に取り組み、与えられた課題に意欲をもって取り組みましょう。 2 提出物は期限を守って必ず提出しましょう。 3 進路実現のために、小論文や作文を書くことができるようにしましょう。
-----------	--

教科	国語	科目	現代文B	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 改訂版 標準現代文B			出版社名	第一学習社	
	副教材	常用漢字クリア (尚文出版)					

学習の目標	1	近代以降の様々な文章を読み、国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成します。
	2	ものの見方や感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって人生を豊かにする態度を養います。
	3	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てます。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	第Ⅱ章 世界を見つめる	○随想を読んで、筆者の考え方や感じ方を表現の特徴に注意して読み取ります。	中間考査 期末考査
	5月	新しい視点 小説を読む (一)	○筆者の体験を追体験することで、現代社会について考える糸口とします。	
	6月		○論理展開に注意して評論を読み、扱われている問題を的確に捉えます。	
	7月		○虚構性に注意して小説を読み、そこに描かれた世界を的確に捉えます。	
		詩を味わう	○詩を読んで、鑑賞力を高め、豊かな感性を養います。	
2 学期	8月	新しい視点	○筆者の主張を参考にしながら、日常生活で起こる関連性について考えを深めます。	中間考査 期末考査
	9月	小説を読む (二)	○小説を読む楽しみをかみしめ、より深い鑑賞力と読解力を身に付けます。	
	10月	生への模索	○文章全体をよく読み、その論理的な構造と論旨の展開について把握します。	
	11月	小説を読む (三)	○文章全体の論理的な枠組みを理解します。	
	12月		○主人公が、苦悩し、自分の過去を振り返り、その原因を求めていく過程を把握します。	
3 学期	1月	詩を味わう	○詩を読んで、鑑賞力を高め、豊かな感性を養います。	学年末考査
	2月			
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的・課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。				
学習へのアドバイス	1 授業の予習と復習を必ず行いましょう。 2 指示を聞いて集中して授業に臨みましょう。 3 小テストや定期考査の準備を十分に行いましょう。				

教科	地理歴史	科目	日本史B	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	新選日本史B			出版社名	東京書籍	
	副教材	新選日本史Bワークノート(東京書籍)					

学習の目標	1 我が国の歴史の展開を、諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察します。 2 各時代の特色と変遷の総合的考察を通じて、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めます。 3 歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養います。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開	○強圧的な武断政治から学問を尊重する文治政治に転換したことを学びます。 ○農業・商工業などの産業と、交通の発達や金融制度の確立などを学びます。 ○享保の改革を経て田沼意次による改革が行われたことと、江戸を中心とする町人文化が形成されたことを学びます。 ○ペリーの来航から開国、江戸幕府の滅亡の過程を学ぶとともに、版籍奉還と廃藩置県など、明治政府が積極的に近代化を進めた改革について学びます。 ○自由民権運動について、運動の活発化と衰退、再燃の過程を学びます。	中間考查
	5月 3 近代社会の発達と町人文化		
	6月 4 幕藩体制の動揺と庶民文化の発達		
	7月 第4章 近代国家の形成と国民文化の発展		
2学期	1 開国から明治維新へ	○大日本帝国憲法の制定、不平等条約の改正をめぐる交渉、思想界でのナショナリズムの台頭を学びます。 ○日清戦争と、その結果、帝国主義が広まり、中国分割が進められる中で日露戦争が起こったことを学びます。 ○朝鮮の植民地化の経緯を学びます。 ○第一次世界大戦の経緯と、大戦後の国際情勢、第二次護憲運動などの国内情勢について学びます。 ○満州事変と日中戦争の過程、日米開戦の経緯を学び、「大東亜共栄圏」に組み込まれた人々への戦時統制が強化されたことを学びます。 ○GHQの指令を受けて進められた民主化、非軍事化の内容について学びます。	中間考查
	2 立憲政治の形成と国民文化		
	8月		
	9月 3 日本の近代化と東アジア		
	10月 4 デモクラシーと第一次世界大戦		
3学期	11月 5 激動する世界と日本	○国際社会が大きく変容する中で、日本が実施している地域協力や、日本が抱えている周辺諸国との問題について考察するとともに、現代がどのような時代であるのかを理解して、自分の言葉で表現します。	学年末考查
	12月 第5章 現代の世界と日本		
	1 占領と国内改革		
	1月 2 国際社会への復帰と高度経済成長		
	3 石油ショックと低成長の時代		
	4 新しい国際秩序と日本の課題		
	2月		
	3月		

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	歴史的・地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業ノート作りを丁寧にしましょう。丁寧なノートは見やすく、頭に入りやすいです。 3 各単元ごとの確認テストで、日本史における基礎的・基本的語句を確認しましょう。
-----------	--

教科	地理歴史	科目	地理A	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 新版 地理A、標準高等地図 - 地図で読む現代社会 -		出版社名	第一学習社、帝国書院		
	副教材	地理(A・B)ワークブック (高教研地歴・公民部会地理部門)、新版 地理Aノート (第一学習社)					
学習の目標	1 現代世界の地理歴認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を身に付けます。 2 現在、世界が抱えている諸問題を解決するためには国際的な協力が必要であることを理解します。 3 世界の諸地域の民族とその歴史を学び、異文化を理解し尊重する態度を身に付けます。						
		教材内容(単元)	学習計画・内容			考查計画	
1 学期	4月	1章①球面で世界を考えよう ②世界地図の特徴を知ろう ③世界観の広がりとは地図 ④国家の領域と領土問題	○地球儀と世界地図との比較、様々な世界地図の読図などを通して、地理的技能を身に付けるとともに、方位や時差、日本の位置と領域、国家間の結び付き等について捉えます。 ○地形や気候などの自然環境の主な要素の分布の特色を世界的な視野から大観するとともに、民族・宗教や生活・文化を支える産業などの社会環境は歴史的背景を反映したものであること等を理解します。			中間 考查	
	5月	⑤国家をこえた結びつき ⑥交通機関の発達と縮小する地球世界 ⑦情報・通信で一体化する世界					
	6月	2章①さまざまな環境の中で暮らす人々 ②世界的視野からみた地形 ③さまざまな地形と生活					
	7月	④世界的視野からみた気候 ⑤世界の気候と生活 ⑥世界の民族・宗教と生活・文化 ⑦生活・文化を支える産業の地域性					
2 学期	8月	3章①東アジアの暮らしを学ぶ ②東南アジアの暮らしを学ぶ ③南アジアの暮らしを学ぶ	○世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けて捉え、その多様性について理解するとともに、異文化を理解し尊重することの重要性について考察します。 ○人口、食料、都市・居住、資源・エネルギー及び地球環境問題を、地球的及び地域的視点から捉え、地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解し、それらの課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察します。 ○身の回りにある様々な地図の収集や地形図の読図、目的や用途に適した地図の作成などを通して、地理的技能を身に付けます。			中間 考查	
	9月	④北アフリカ・西アジア・中央アジアの暮らしを学ぶ ⑤中南アフリカの暮らしを学ぶ ⑥ヨーロッパの暮らしを学ぶ					
	10月	⑦ロシアと周辺諸国の暮らしを学ぶ ⑧北アメリカの暮らしを学ぶ ⑨中央・南アメリカの暮らしを学ぶ ⑩オセアニアの暮らしを学ぶ					
	11月	4章①地球的課題の地理的な側面 ②人口問題 ③食料問題 ④都市・居住問題 ⑤資源・エネルギー問題 ⑥地球環境問題					
	12月	⑦地球的課題への取り組みと国際協力 1章①地図をもって生活しよう ②身近な地図を読みこなそう					
3 学期	1月	③地図表現について考えよう ④地形図を活用しよう 2章①日本の自然と生活 ②自然災害に備えた暮らし	○我が国の自然環境の特色と自然災害との関わりについて理解するとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察します。 ○生活圏の地理的な諸課題を地域調査やその結果の地図化などによって捉え、その解決に向けた取組などについて探究する活動を通して、日常生活と結び付いた地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けます。			学年末 考查	
	2月	3章①地域調査の方法 ②水とともに暮らすまち「白山市」を考える					
	3月						
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能		知識・理解		
	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとしている。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。		現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や探究の方法を理解し、その知識を身に付けている。		
評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。						
学習へのアドバイス	1 日頃から新聞の国際面を読み、海外の出来事などについて関心をもちましょう。 2 興味・関心をもったテーマは、図書館やインターネットを利用して積極的に調べましょう。 3 定期考查で知識の定着を図りましょう。						

教科	公民	科目	政治・経済	学年	3年(普通科 教養、情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 新政治・経済			出版社名	第一学習社	
	副教材	最新政治・経済資料集2023(第一学習社)、ワークブック政治・経済(愛媛県高教研地歴・公民部門編)					

学習の目標	1 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めます。 2 現代における政治、経済、国際関係について客観的に理解します。 3 公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育みます。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画			
1 学期	4月	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法	○民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとの関わりについて理解します。 ○日本国憲法の成立過程を把握するとともに、基本的人権や新しい人権について理解を深め、その本質を学びます。	中間 考查			
	5月						
	6月	第2章 現代の国際政治と日本	○国会、内閣、裁判所などの政治機構に触れながら、主権者としての政治に対する関心を高めるとともに、それぞれの役割について理解します。 ○国際政治と国内政治の違いや、国際法や国際裁判の意義を理解します。		期末 考查		
	7月						
2 学期	8月	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質	○冷戦終結後の国際社会の動向について把握するとともに、冷戦終結後の世界がどのように変化したのか理解します。 ○資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較しながら、現代政治の特質について理解します。 ○国民所得の構成や景気変動、経済成長について、諸資料を利用して、日本と諸外国の現状を比較します。	中間 考查			
	9月						
	10月				第2章 国民経済と国際経済	○国際経済に関する基本的な概念や理論を理解します。 ○為替相場のメカニズムについて把握しながら、円高・円安が国内の産業にどのように影響するか理解します。	期末 考查
	11月						
12月							
3 学期	1月	第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題 第2章 国際社会の政治や経済の諸課題	○現代社会の諸課題について、政治と経済との関連に留意しながら、様々な角度から考え、客観的な立場に立って望ましい解決の在り方を考えます。	学年末 考查			
	2月						
	3月						

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価の方法	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を探究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。			
学習へのアドバイス	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断してその過程や結果を様々な方法で適切に表現している。			
評価の方法	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。			
評価の方法	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。			
評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業ノート作りを丁寧に行いましょう。分からないこと、疑問点は質問しましょう。 3 新聞やニュースなどで、時事問題に興味・関心をもちましょう。			

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	改訂版 最新 数学Ⅱ			出版社名	数研出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 指数関数・対数関数、微分法と積分法についての理解を深めます。 2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。 3 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第5章 指数関数と対数関数 1. 指数法則	○指数法則を理解し、計算ができるようにします。	中間考查
	5月	2. 指数関数とそのグラフ	○指数関数の特徴を理解し、グラフがかけられるようにします。	
	6月	3. 対数	○対数の性質を理解し、計算ができるようにします。	
	7月	4. 対数の性質	○対数関数の特徴を理解し、グラフがかけられるようにします。	期末考查
		5. 対数関数とそのグラフ		
		6. 常用対数	○常用対数の意味について理解し、その応用ができるようにします。	
2 学期	8月	第6章 微分法と積分法 第1節 微分法		中間考查 期末考查
	9月	1. 平均変化率と微分係数	○微分の考え方を理解し、導関数の計算ができるようにします。	
		2. 導関数 3. 微分法の公式	○導関数を応用し、接線の方程式が求められるようにします。	
		4. 接線		
		5. 関数の増減		
		6. 関数の極大・極小	○3次関数のグラフを用い、極値や最大値・最小値が求められるようにします。	
		7. 関数の最大・最小	○3次関数のグラフを利用し、3次方程式や3次不等式の解を求められるようにします。	
		8. 方程式・不等式への応用		
	10月	第2節 積分法		
	11月	9. 不定積分	○積分の考え方を理解し、不定積分や定積分の計算ができるようにします。	
12月	10. 不定積分の計算			
	11. 定積分			
3 学期	1月	12. 定積分の性質	○定積分の考え方を応用し、グラフで囲まれた部分の面積が求められるようにします。	学年末考查
	2月	13. 面積		
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
評価の観点	指数関数・対数関数及び微分・積分に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、指数関数・対数関数及び微分・積分における数学的な見方や考え方を身に付けている。	指数関数・対数関数及び微分・積分において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	指数関数・対数関数及び微分・積分における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等を通して、物事を筋道立てて考えたり、具体的な手順などを考えたりしましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。
-----------	--

教科	保健体育	科目	体育	学年	3年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	現代高等保健体育 改訂版			出版社名	大修館書店	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わいます。 2 公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高めます。 3 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	1 体づくり運動	○ 南校体操、補強運動や集団走を正確に身に付けます。 ○ 集団行動を通し、協力、責任、参画に対する意欲を高めます。 ○ 体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。 ○ バレーボール、ソフトボール、卓球、テニスの中から選択して活動します。 ○ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。	
	5月	2 陸上競技		
	6月	3 球技Ⅰ		
	7月	4 体育理論		
2 学期	8月	5 体づくり運動 ダンス	○ 運動会の集団演技の練習を行う中で、集団の中での協調性を養います。 ○ 長距離走を行うことにより、体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。 ○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。 ○ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。	
	9月			
	10月	6 陸上競技		
	11月	7 球技Ⅱ		
	12月	8 体育理論		
3 学期	1月	9 球技Ⅱ	○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。	
	2月			
	3月			

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動技能	知識・理解
評価の観点	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の強力的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするために各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技能(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
評価の方法	「関心・意欲・態度」「思考・判断」「運動の技能」「知識・理解」の4つの観点で総合的に評価します。学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均することによって行います。			
学習へのアドバイス	1 「鍛」を目標に体力・気力の充実を図りたくましく生きる力を身に付けていきましょう。 2 積極的に参加し、自主的に協調性をもって行動しましょう。 3 一人一人が健康と安全に留意して臨みましょう。			

令和5年度 愛媛県立今治南高等学校 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	Revised COMET English Communication II			出版社名	数研出版	
	副教材	コーパス3000 (東京書籍)					

学習の目標	1 英語を読んで、情報や書き手の意向を理解する力を伸ばします。 2 読んだ内容について、相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けます。 3 英語学習を通して、日常的な話題等に関する自分の意見を英語で表現する態度を身に付けます。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 Lesson 8 Do We Need That?	○身の回りのサービスやそれに対する日本と海外の考え方について学びます。	中間 考 査 期 末 考 査
	5月		
	6月 Lesson 9 Changing Feelings	○感情と思考の関連性について学びます。	
	7月 1学期のまとめ		
2 学期	8月 Lesson 10 Ban Shigeru, Architect of Paper	○建築家、坂茂さんの活動を学ぶとともに職業と社会のつながりを学びます。	中間 考 査 期 末 考 査
	9月		
	10月 Lesson 11 Win for our Nation	○マンデラとスプリングボックスの挑戦やアパルトヘイトについて学びます。	
	11月 2学期のまとめ		
	12月		
3 学期	1月 Lesson 12 From Small Factories to the World	○日本の工場のものでづくり精神や高度な工業技術について学びます。	学 年 末 考 査
	2月		
	3月		

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
	英語を読む活動を積極的に行い、内容についても積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	自分の解釈が聞き手に伝わるように適切に英語で表現する。	様々なジャンルの英語を読んで、必要な情報や相手が伝えたいメッセージを理解する。	学習の内容の語彙が身に付き、論旨の展開が理解できる。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、授業に取り組む態度・小テスト・課題等を考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 予習、復習を自主的に行い、積極的に音読や辞書を使った学習をしましょう。 2 板書事項は確実にノートに書き留め、重要事項が分かるようなノートを作成しましょう。 3 リズムやイントネーションに注意して何度も音読し、基本的な語彙を身に付けましょう。
-----------	---

教科	外国語	科目	英語会話	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	Hello there! English Conversation			出版社名	東京書籍	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。 2 英語を通して、身近な話題について会話する力を伸ばします。 3 日常的话题について、自分自身の考えなどを整理して英語で発表する姿勢を養います。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1学期	4月 Lesson 1 Nice to Meet You	○自己紹介の流れを理解し、積極的に自分のことを話す練習をします。	中間考査 期末考査
	5月 Lesson 2 Hello, Friends!	○インタビューに必要な表現を学び、情報を引き出す練習をします。	
	6月 Lesson 3 My Favorite Music	○音楽・楽器に関する表現を学び、好きな音楽を言ったり聞いたりします。	
	7月 Lesson 4 What Are You Crazy about?	○自分が好きなものについて理由を挙げて説明する方法を学びます。	
2学期	8月 Lesson 5 A Friendly Potluck Dinner	○料理の特徴や手順について、聞いたり説明したりします。	中間考査 期末考査
	9月 Lesson 6 Are You All Right?	○同情や助言の表現を学び、体調について聞いたり説明したりします。	
	10月 Lesson 7 Talking about Our Town	○距離や方角など場所の特徴を説明して、詳しい情報を引き出します。	
	11月 Lesson 8 Traditional Culture	○各国・地域の習慣や伝統について、尋ねたり説明したりします。	
	12月 Lesson 9 Equal Roles	○自分の感情や感想を表現したり、友達と意見交換をします。	
3学期	1月 Lesson 10 Helping Each Other	○自分の推測や主張を表現する方法を学びます。	学年末考査
	2月		
	3月		

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	英語で話したり発表したりして、情報や考えなどを適切に表現している。	日常生活の身近な話題について、英語を聞いて情報や考えなど、相手が伝えようとすることを理解している。	日常生活についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート、及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 予習、復習を行い、積極的に声に出して音読しましょう。 2 板書事項は確実にノートに書きとめ、重要な所が分かるノート作りをしましょう。 3 表現に必要な基本的な語彙、語法、構文を身に付けましょう。
-----------	---

教科	商業	科目	広告と販売促進	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	広告と販売促進			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1	成熟した現代市場において広告と販売促進が果たす役割とその意義を理解します。
	2	広告や販売促進に関する知識と技術を体験的に習得します。
	3	マーケティングにおける企業と消費者間のコミュニケーション活動の果たす意義や役割を理解します。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1学期	4月	第1章 販売促進 1節 販売促進の概要	○ 販売促進を実施していくために広報の定義と概念について理解します。	期末考査
	5月	2節 消費者行動の理解	○ 広報の種類と役割や組織仕事や組織について理解します。目的対象を明確にし、用途種類、具体的内容を理解します。	
		3節 販売促進の戦略と具体的活動	○ 商品広報ブリシティ種類分類と企業広報コミュニケーション対象内容分類を理解します。また、企業広報のコミュニケーション活動について学習します。	
6月	実習1 広告計画の立案と広告制作	○ 広告の作品制作を行います。		
	第2章 広告 1節 広告の概要			
	2節 広告計画の手順と内容			
7月	3節 広告計画の立案と広告制作			
2学期	8月	第3章 広報 1節 広報の概要	○ 効果的広報IMCに基づいた一貫性活動を学習し、効果的広報方法、プロダクト・プレイスメントや話題喚起、物語広報について理解します。	期末考査
	9月	2節 広報の具体的活動	○ 店舗立地の商圈、店舗立地小売業業績の認識を理解し、選定条件観点、要因、手順整理に関して学習します。	
		3節 効果的な広報	○ 店舗設計ストア・ロイヤルティ理解、計画手順整理の方法、店舗レイアウトの売り場形態影響を理解します。	
	10月	第4章 店舗の立地と設計 1節 店舗の立地	○ 棚割グルーピング、ゾーニング、効果的な陳列方法と分析について理解します。	
	11月	2節 店舗の設計	○ さまざまなディスプレイの種類と店舗の設計と広告制作について理解します。	
12月	3節 商品の棚割と陳列 実習2 広告計画の立案と広告制作			
3学期	1月	第5章 販売員活動 1節 販売員活動の概要	○ 販売員活動の役割と目的や販売対象と販売形態の側面からの分類を理解します。	学年末考査
	2月	2節 販売員活動の方法	○ 販売員に求められる役割と知識について理解します。	
		3月		

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点	広告や販売促進などに関する知識と技術について関心をもち、それらを習得するために意欲的に取り組んでいるか。	広告や販売促進など販売に関する活動における諸問題を解決するために、思考できるか。	広告の作成、店舗設計、商品陳列、接客などに関する知識と技能を身に付けているか。	広告と販売促進に関する基礎的基本的な知識を身に付け、それを現代社会の諸問題を考察できる水準まで理解を深めているか。
評価の方法	成績は、定期考査・課題の提出・積極的な学習態度や取組などから評価します。また、広告作品制作へ取り組む姿勢や発表状況も評価の対象とします。			
学習へのアドバイス	1 教科書を中心に、社会環境や経済の変化にしっかり興味関心をもち、身近な問題から基礎・基本の定着を図りましょう。 2 新聞を読み、時事問題に関心を持つようにしましょう。			

教科	商業	科目	情報処理	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	最新情報処理 新訂版			出版社名	実教出版	
	副教材	全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集1級、全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集2級(実教出版)					

学習の目標	1	ビジネスに必要とされる商業文書に関する基礎的な知識と技術を習得します。
	2	ビジネスの諸活動で活用する能力と態度を育成します。
	3	全商ビジネス文書実務検定試験1・2級程度の知識を身に付けます。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	1章 情報の活用と情報モラル 1節 ビジネスと情報 2節 情報モラル	○ ビジネスにおける情報の意義と役割を理解して高度情報通信社会におけるルールやマナーを身に付けます。目標に合ったハードウェア、ソフトウェアの知識を習得します。 ○ 情報通信ネットワークの役割と仕組みやビジネスの関わりを理解します。 ○ ネットワークの形態や性能評価を理解して、通信速度の計算を習得します。	期末考査
	5月	3節 ハードウェアとソフトウェア 2章 情報通信ネットワークとセキュリティ管理		
	6月	1節 情報通信ネットワークの概要 2節 ビジネス情報の検索と収集 3節 ビジネス情報の受信と送信		
	7月			
2 学期	8月	4節 セキュリティ管理の基礎 5節 セキュリティ管理の重要性 3章 ビジネス情報の処理と分析	○ 情報通信における暗号化などのセキュリティ管理を高める方法について理解します。 ○ 表計算ソフトウェアの基本操作方法を習得します。基本的な関数から応用的な関数の利用方法を習得します。グラフの種類と特色を理解し、目的に応じて作成する知識や技術を習得します。データベース操作やSQLの基本知識を習得します。 ○ ビジネス文書の役割や基本的な構成要素、表現方法などを理解させ、効果的な画像処理や編集技術を習得します。 ○ 基本的・応用的な通信文書を作成するための知識・技術を習得します。	期末考査
	9月	1節 基本的な表の作成 2節 関数を利用した表の作成方法 3節 グラフの作成		
	10月	4節 情報の整列・検索・抽出 5節 ビジネスと統計		
	11月	4章 ビジネス文書の作成 1部 ビジネス文書と表現 2部 図形と画像の活用		
	12月	3節 基本文書の作成 4節 応用文書の作成		
3 学期	1月	5章 プレゼンテーション 1節 プレゼンテーションの技法	○ プレゼンテーションソフトを利用して、スライドや資料を作成して効果的なプレゼンテーションの力を養います。	学年末考査
	2月	2節 ビジネスとプレゼンテーション		
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
	情報の収集・処理・分析・表現について関心を持ち、ビジネスの諸活動において情報を活用することを目指して主体的に取り組もうとするとともに、情報を活用する実践的な態度を身に付けている。	ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用することを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動における情報の活用を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、情報の意義や役割について理解している。
評価の方法	成績は、定期考査・課題の提出・積極的な学習態度や取組などから評価します。また、検定試験へ取り組み姿勢や取得状況も評価の対象とします。			
学習へのアドバイス	1 教科書、模擬問題集の例題・練習問題を繰り返すことで基礎・基本の定着を図りましょう。 2 新聞を読み、時事問題に関心を持つようにしましょう。 3 検定試験に積極的に取り組みましょう。			

教科	商業	科目	ビジネス情報	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型)	単位数	3
教材	教科書	ビジネス情報 新訂版			出版社名	実教出版	
	副教材	令和5年度版 コンピュータ会計 初級 テキスト・問題集 (実教出版)					

学習の目標	1 業務の情報化の必要性、情報通信ネットワークの導入と運用及びデータの保護を取り扱い、オフィス業務において情報通信ネットワークを効果的に活用するための基礎的な知識と技術を習得します。 2 情報を表計算ソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を習得します。
-------	--

		教材内容 (単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 ビジネスと情報 第1節 情報化社会とビジネス 第2節 ネットワークとビジネス	○ ビジネスにおけるICT活用やビジネスと情報の関係、企業において利用されている実情を理解します。	期末考查
	5月	2 情報通信ネットワークの活用 第1節 ネットワークの基礎 第2節 ネットワークの管理と構築	○ ネットワーク社会の新しいビジネス形態の進展やその課題を理解します。	
	6月	第3節 サーバ管理 第4節 セキュリティ管理 コンピュータ会計 (学習)	○ ファイルの共有やアクセス権の設定法を学習します。ファイルの共有やアクセス権の設定について理解します。	
	7月		○ セキュリティポリシーの設定やデータの保護、用務に役立つ合理化や自動化について学習します。会計ソフトを活用した会計処理を学習し理解します。	
2 学期	8月	3 表計算ソフトウェアの活用 第1節 集計処理 第2節 オペレーションズリサーチの基礎	○ 用務の合理化や自動化を理解します。 ○ ワークシート間の集計やグループ集計、クロス集計やオペレーションズリサーチの基礎を学習します。グラフを用いたデータ分析方法を理解します。	期末考查
	9月	第3節 ビジネス計算 第4節 手続きの自動化		
	10月	4 データベースソフトウェアの活用 第1節 ビジネス情報とデータベース 第2節 データベースの利用 第3節 SQLの操作	○ ビジネスに関連した情報システムの開発について学習します。 ○ 表計算ソフトウェアのプログラミング機能を使用したシステム開発について理解します。	
	11月	5 ソフトウェアを活用したシステム開発 第1節 システム開発の基礎 第2節 アルゴリズムの基礎	○ 表計算ソフトウェアの活用した学習を行い、アルゴリズムを理解します。	
	12月			
3 学期	1月	第3節 表計算ソフトウェアによる開発 発展学習	○ 表計算ソフトウェアの発展した学習を行います。	学年末考查
	2月			
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
		ビジネスの諸活動において、情報を主体的、積極的に活用し、将来、職場における情報活用のリーダーとなる意欲と態度をもっている。	適切な手段を用いて情報を収集・処理し、要求に応じた適切なシステム開発の要件を整理するなどの思考・判断力・表現力を身に付けている。	ビジネスにおける情報活用に必要な、情報の分析手法、システムの開発、ネットワークの構築などの技能を身に付けている。
評価の方法	成績は、定期考査・課題の提出・積極的な学習態度や取組などから評価します。また、検定試験へ取り組む姿勢や取得状況も評価の対象とします。			
学習へのアドバイス	1 教科書を理解し基礎的な知識や技術を身に付けましょう。 2 新聞を読み、時事問題に関心をもつようにしましょう。 3 情報化社会に対する適応能力を高めましょう。			

教科	家庭	科目	生活と福祉	学年	3年(普通科 情報・ビジネス類型 選択)	単位数	2
教材	準教科書	生活と福祉			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 高齢者の健康と生活について理解します。 2 介護などに関する知識と技術を習得します。 3 高齢者の生活の質を高めるとともに、自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を育てます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	1章 人の一生と生活・健康 1節 健康の概念 2節 ライフステージと健康管理	○健康の概念と健康状態に影響を及ぼす要因について理解します。 ○社会福祉協議会の方の福祉についての講話を聞きます。	期末考査
	5月	2章 高齢化の現状と高齢者の特徴	○日本の高齢化の現状について理解するとともに将来の高齢社会の在り方を考えます。 ○デイサービスでの実習を通して、高齢者の心身の特徴を理解します。	
	6月	1節 高齢化の現状 2節 高齢者の心身の特徴と病気 3節 高齢者の生活課題と施策		
	7月			
2 学期	8月	3章 高齢者の自立生活支援 1節 自立生活支援の基本となる考え方	○高齢者の自己決定に基づく自立生活支援の重要性について理解します。 ○福祉施設を訪問し、介護と介護予防について考えます。	期末考査
	9月	2節 高齢者介護	○高齢者福祉に関する法規や制度の目的と概要について理解します。 ○高齢者に関する保健・医療・福祉サービスについて理解します。 ○福祉施設を訪問し、高齢者支援の課題と展望について考えます。	
	10月	4章 高齢者支援の法律と制度 1節 社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ		
	11月	2節 介護保険制度 3節 高齢者支援と地域包括システム		
12月				
3 学期	1月	5章 介護・看護の実習と生活支援 1節 介護の実習	○福祉施設を訪問し、介護の現状を見学・体験します。	学年末考査
	2月			
	3月			

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点	高齢者の健康と生活・介護などに関心をもち、高齢者と積極的に関わり、適切な生活援助や介護をしようとする意欲と態度を身に付けている。	生活の質を高めるとともに、高齢者の健康管理や自立生活支援について課題を見だし、思考を高め、適切に判断し、創意工夫し表現する能力を身に付けている。	高齢者の健康と生活、介護など、高齢者の健康管理や自立支援に関する技術を身に付けている。	高齢者の健康と生活、介護など、高齢者の健康管理や自立支援に関する知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は実習に取り組む態度、課題の提出状況、ノートなどを総合的に考慮して評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 実習科目であるので、欠席しないで意欲的に取り組みましょう。 2 授業中はしっかり話を聞き、理解し、考え、自分の意見を持ちましょう。 3 学んだこと、経験したことを将来の実生活に生かしていきましょう。
-----------	---